

令和4年度 第11回大潟区地域協議会次第

日時 令和5年1月26日(木) 午後6時30分から
会場 大潟コミュニティプラザ2階 大会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告事項

- (1) 大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館の利活用促進に関する意見書
について(回答) 資料No.1

4 協議事項

- (1) 令和4年度地域活動支援事業の成果報告会について 資料No.2
- (2) 地域活性化の方向性について 資料No.3
- (3) 「いきいきおおがた」プロジェクトについて

5 その他

- ・次回地域協議会開催予定日 2月22日(水)

6 閉会

上 柿 産 第 1138 号
令 和 5 年 1 月 17 日

大潟区地域協議会
会長 佐藤忠治 様

上越市長 中川幹太
(柿崎区総合事務所)



大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の
利活用促進に関する意見書について(回答)

令和4年12月15日付けで提出のありました意見書について、下記のとおり回答いたします。

記

貴地域協議会におかれましては、指定管理施設「大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館(以下、「鵜の浜人魚館」という。))」に関して、自主的なご審議をいただき敬意を表します。

鵜の浜人魚館は、市内唯一の温泉街である鵜の浜温泉にあり、市といたしましても地域の活性化や観光振興に資する施設であると認識しています。

人口減少等により施設利用者数は減少している中、コロナ禍が追い打ちとなり、現在は非常に厳しい状況に至っています。

今後の施設の活性化には、市や指定管理者だけでなく、地域の皆様からより一層利活用いただく必要があるため、この度のご提案は非常にありがたく受け止めています。

いただいたご意見につきましては、指定管理者である株式会社大潟地域活性化センターと共有するとともに、市といたしましても、一層の利活用の促進に取り組んでいきますので、今後ともご支援、ご協力をお願いします。

令和4年度地域活動支援事業（大潟区）成果報告会

1 開催趣旨

- ・令和4年度の地域活動支援事業で採択された事業の実績報告をすることにより成果の確認をする。
- ・令和4年度の大潟区地域協議会の活動報告を行い、地域協議会の活動内容を周知する。

2 開催日時 令和5年3月9日（木）午後6時30分から（受付：午後6時～）

3 会 場 大潟コミュニティプラザ2階 多目的ホール

4 報告事業 令和4年度採択6団体6事業 ※未完の事業も報告を行う。

（報告順）

| 事業名 | 提案団体名 |
|-----------------------------|--------------------------|
| ① 九戸浜のお宝発掘事業 第3弾 米山道道標看板設置 | 九戸浜町内会 |
| ② 2023 おおがた今昔物語カレンダー作成事業 | まちづくり大潟 |
| ③ どんどの石井戸を後世に残す事業 | 辨天池水道組合 |
| ④ 屋外スポーツ活動等促進 AED 整備事業 | 特定非営利活動法人 おおがたスポーツクラブ |
| ⑤ 「天保6年堀割御普請中日記帳」解説文の増刷出版事業 | 郷土史友の会おおがた |
| ⑥ マタニティー&子育て家族フェス事業 | 特定非営利活動法人 ふぁみりり |

5 報告方法

- ① 報告時間 1事業10分（準備等含む）
- ② 各団体より「報告説明資料」を作成してもらい報告を行う。
- ③ 事業実施中の場合や実績報告未提出の事業は、見込みで報告する。

6 報告者 令和4年度事業実施者（各団体2人程度）

7 所要時間 90分

| 時間案 | 内容 | 備考 |
|-------------|---------------|----|
| 18:00～ | 開場 | |
| 18:30～18:35 | 開会 | |
| 18:35～19:35 | 成果報告(質疑含む) | |
| 19:35～19:55 | 大潟区地域協議会の活動報告 | |
| 19:55～20:00 | 閉会 | |

8 参集者 地域協議会委員、R4 地域活動支援事業提案団体、町内会、まちづくり大潟、小・中学校PTA、小・中学校後援会、大潟区防犯組合、上越交通安全協会大潟支部、R3 地域活動支援事業提案団体他
※参集者は全体で50人を限度とする。

9 周知方法 ・各団体には個別に周知
・防災行政無線 ・まちづくり大潟の広報誌に掲載

10 委員役割分担 会場準備(都合のつく委員全員) ※午後5時30分集合時間

受付係(4名) _____

司会(1名) _____

案内係(司会、受付以外の委員)

大潟区における「地域活性化の方向性」について

1. 地域協議会委員の意見集約（構成要素）

各地域協議会委員のから提案された構成要素の内容から、キーワードを抽出し分類ごとに区分する。

【キーワードによる分類】

| | 分類 | 主なキーワード |
|---|-------|--|
| ① | 歴史・景観 | 旧北国街道の歴史、海岸の景色、伝説や歴史、5つの湖沼群、自然と生活の調和、歴史・文化遺産、海辺の景観 |
| ② | 偉人 | 小山作之助、夏は来ぬ |
| ③ | 観光 | 鶺の浜温泉、鶺の浜海水浴場、特産品、大潟水と森公園、アスレチック、キャンプ場 |
| ④ | 教育 | ジムリーナ、体操、次世代を担う青少年、子育て |
| ⑤ | まちづくり | 地域づくり、人材育成、生きがいづくり |
| ⑥ | 商工業 | 商工業の誘致、都市基盤の整備 |
| ⑦ | 福祉 | 元気で長生き、思いやり・福祉の充実 |

2. 今後の進め方について（案）

(1) 地域協議会

- ① 提案された内容をキーワード抽出し、分類ごとに区分する
- ② 分類の選定を行う
(分類をいくつに絞るか、この分類でよいか など)
- ③ 分類内のキーワードの選定を行う
- ④ 構成要素案の作成
(正副会長でキーワードを基に案を作成)
- ⑤ 構成要素案を協議
(地域協議会で正副会長案を協議)
- ⑥ 分類の要素を基に、全体像を作成

(2) 地域協議会案を各種団体と意見交換

大潟区における「地域活性化の方向性」意見集約

令和5年1月26日(木)
第11回大潟区地域協議会
資料No.3-2

| No. | 内容 | 理由 |
|-----------------|---|---|
| 1 【分類】歴史・景観 | | 【主なキーワード】 旧北国街道、海岸、湖沼群 |
| ① | 旧北国街道の歴史を活かした観光。 | 最近、様々な人が自らの足で街道を歩いて、歴史を学んでいる。大潟区も柿崎宿と連携し、宿場と街道を発信したい。佐渡で取り組んでいる世界遺産登録とも少なからず関連があるので、金の道としても活かしていきたい。 |
| ② | 大潟の海岸の景色を、作詩作曲したものであるということを断言すること。 | 「松原遠く、消ゆるところ」と、歌われてきたこの歌は、中高年の方なら覚えている人も多くおられる。文部省唱歌「海」。情緒豊かな美しい曲であり、幾多の人に親しまれ愛されてきた、思い出深い曲。 以前から、作詞作曲者不詳とされながらも、小山作之助に違いないと言われてきた。 上越市のホームページにもこの曲の記述があり、「故郷大潟の海岸の景色を、自ら作詩作曲したことを知る者がいないのは、残念なこと」と紹介してある。 私も、松原遠くの「海」は大潟の海であると教わり、感動したことを鮮明に覚えている。 古くから、教え伝えられて来ていることを根拠として、「海」は小山作之助が、大潟の海岸の景色を作詞作曲したものと、断言しても異論は出ないだろう。 「日本音楽教育の母」とも呼ばれた小山作之助は、多岐にわたり多くの曲を作詞作曲したとのことだが、現在私たちが、知っている曲はほとんどない。 この「海」も、今では歌われることも少なく、知らない人も多くいるのも事実。 私たちの住む大潟の地が、松原遠くの「海」の発祥地だとすると、愛着も湧いてくる。 この名曲「海」を再認識し、今、私たちが発信しなければ忘れ去られてしまうだろう。 この歌と共に大潟の魅力を広くアピールし地域活性化につなげることができれば最高。 いつまでも心に残る歌として、「夏は来ぬ」と共に歌い継がれて行くことを願うばかり。 大潟の宝物、日本の宝物、作詞作曲小山作之助、「松原遠くの「海」」である。 |
| ③ | 歌と共に大潟の魅力を広くアピールし地域活性化につなげること。 | 【1-②参照】 |
| ④ | 伝説や歴史が新しい世代とつながる。 | 伝説や歴史が語り継がれて史跡等をしっかり管理していくため。 |
| ⑤ | 大潟区の5つの湖沼群(池)の景観整備と有効利用。 | 池周辺である南大潟地区の活性化を図るため。 |
| ⑥ | 自然と生活が調和するまちづくり 海岸線や森林、自然に恵まれた湖沼群などの環境財産を保全し、緑に囲まれた快適環境で、住みたくなるまちづくり。 | 日本海と森林、湖沼群と田園地帯は、大潟区にとってはかけがいのない自然環境財産、海岸浸食対策、松くい虫対策、松の木の植樹・育樹の推進による緑地帯の拡充。 |
| ⑦ | 地域資源の発掘と整備による歴史・文化遺産のかおるまちづくり 大潟区固有の人・物・文化遺産等の地域の宝を活かす工夫をする。 | 既存の地域資源を中心に、更に「地域の宝」を発掘し、全住民による歴史・文化遺産の共有によって「和み」のあるまちづくりを目指す。 |
| ⑧ | 海岸の”波”の回復、消波ブロックの再検討、海辺の景観回復 | 長い海岸線と砂浜と森林は大潟に住む者の共通にもつアイデンティティと考える。 |
| 2 【分類】偉人(小山作之助) | | 【主なキーワード】 小山作之助、夏は来ぬ |
| ① | 小山作之助の偉業を様々なイベントなどで発信し、多くの人に関心を持ってもらう。 | 高田地区には、小川未明文学館があり、今年は特に生誕140年の節目でもあり、様々な行事が実施されている。 小山作之助も上越市で大きく取り上げられるように大潟区から発信していきたい。 |
| ② | 松原遠くの「海」が小山作之助の作詞作曲であるということを断言すること。 | 【1-②参照】 |
| ③ | 心に残る歌として歌い継ぎ「夏は来ぬ」と共に後世に伝え残すこと。 | 【1-②参照】 |
| ④ | 小山作之助先生の生誕地。 | 小山先生の知名度と情報を発信するため。 |
| ⑤ | 小山作之助にスポットを当てた町のイメージ。 | |
| 3 【分類】観光 | | 【主なキーワード】 鵜の浜温泉、鵜の浜海水浴場、鵜の浜人魚館、大潟水と森公園、ジムリーナ、大潟キャンプ場 |
| ① | 魅力的な鵜の浜温泉。 | 上越市の唯一の温泉地である鵜の浜温泉の魅力を広げるため |
| ② | 高速道路のパーキングでの特産品の販売。 | 大潟区の特産品を知って頂くため |
| ③ | 鵜の浜海水浴場や鵜の浜温泉を中心とした観光。 | |
| ④ | 壮大な日本海、鵜の浜温泉街、人魚館、水と森公園を主体とする観光資源、ジムリーナやアスレチックとキャンプ場のある海浜公園等を活かした観光交流人口の拡充。 | 夏の海水浴場と釣り、海浜公園でのキャンプ、水と森公園の緑、ジムリーナでの合宿、美田で収穫される美味しいごはん等を活かし、区内の歴史・文化遺産を巡る観光を目指す。 |
| ⑤ | 鵜の浜温泉や海水浴場など観光資源の魅力を磨く。 | |
| ⑥ | 観光地域の見直しと観光資源の連携と情報発信基地の整備。 | |
| ⑦ | 大潟区の魅力を活用して、鵜の浜温泉を観光拠点として整備して賑わいを高める。 | |
| ⑧ | 海岸サイクリング道路の延長・整備 | |

| No. | 内容 | 理由 |
|-----|--|---|
| 4 | 【分類】教育 | 【主なキーワード】 子育て、青少年の育成 |
| ① | 教育文化のかおり高いまちづくり 小・中学校、2保育園、併せて、自然環境に恵まれており、子育てに適したまちであり、更に関連施設の充実を目指す。 | 通学バス、通園バスの拡充をはかり、関連施設の改善を進め、子育て環境の充実化によって、子育て世代の移住、定住を目指す。 |
| ② | 次世代を担う青少年の育成に努める。 | |
| ③ | 図書室の充実と移転。 | |
| ④ | 中学校の乙女の像の移転。 | 男子像ととなり併せにすること。 |
| 5 | 【分類】まちづくり | 【主なキーワード】 地域づくり、人材育成、生きがいづくり |
| ① | 住民の意見を上手に集めていながら地域の発展に貢献できる仕組み(組織)を作る。 | まちづくり大湊や地域協議会では力不足。総合事務所も参画した新たな仕組み(組織)が要る。 |
| ② | 地域協議会委員を男女半々の人数とする。 | 多様な意見を生かせるような会議体とするため。 |
| ③ | まちづくり大湊・商工会・観光協会等の団体合同イベントの開催。 | イベントを大きくすることにより大湊区をアピールすることができる。 |
| ④ | 頸北地区の連携ネットワークづくり 地域の課題の共有。 | |
| ⑤ | 地域づくり人材育成・社会教育の推進と公民館の活用 生きがいづくりのきっかけづくり。 | |
| ⑥ | 住民相互の交流により、住民の積極的なまちづくりへの参加を促す。 | |
| ⑦ | 男女平等、共同参画を進め、女性活躍を促す。 | |
| 6 | 【分類】商工業 | 【主なキーワード】 工業・商業の誘致、工業専用地域 |
| ① | 空き家の再利用(活用)。 | 商・工・観・住による区民増加が望める。 |
| ② | 若者が働く事が出来る工業・商業の誘致。 | 若者の働く魅力ある企業が地区にないため、区外へ出て行ってしまう。 |
| ③ | 都市計画区域「工業専用地域」の見直し。 | 工場の誘致進まず。「用途指定」変更推進。 |
| ④ | 都市基盤の整備と共に大湊の水と緑の自然と調和のとれた環境のまちづくり。 | |
| 7 | 【分類】福祉 | 【主なキーワード】 スポーツ、長生き、高齢者の生きがい |
| ① | 幼児～中学生の医療無償化。 | 子供世帯の負担を低減することで住みやすい生活環境を改善する。 |
| ② | 高齢者の運転免許証の返納支援(オンデマンドバス運用)。 | 高齢者の交通事故を防ぐために区内を巡回する。 |
| ③ | スポーツで元気で長生き。 | みんなが元気で健康で長生きするためにスポーツが気軽に楽しめるように |
| ④ | 思いやり・福祉の充実したまちづくり 在宅福祉サービスや福祉施設の整備・充実をはかり、一般住民、高齢者にとっても豊かさや魅力ある住みよいまちづくり。 | 既存の福祉施設の整備・拡充を進め、犀湊医療センターの「総合病院化」により医療の充実。町時代に計画した「大湊特別養護老人ホーム・ケアハウス」建設計画の具現化をはかる。「福祉のまちづくり」をつくる。 |
| ⑤ | 高齢になっても生きがいをもって地域で活躍できるしくみづくり。 | |

参考 他地域協議会の「地域活性化の方向性」について【構成要素】

| | |
|--|---|
| <p>【牧区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしい水の恵みのPR(米、農産物、どぶろく 他) ・豊富にある山の食材の活用(ウド、ぜんまい、ヨモギ 他) ・樹木を活用した特産品の企画(メープルシロップ 他) ・四季折々に合わせたイベントの開催(灯の回廊、山里コンサート 他) ・子どもから高齢者までが生きがいを持って暮らすことの推進 ・大自然の中の宿泊施設、公共施設の利用促進 (花の植栽、深山荘、歴史民俗資料館 他) | <p>【板倉区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米や蕎麦などの農作物の美味しさや魅力の発信 ・豊かな自然環境や歴史文化をいかした企画 ・美しい景観や里山風景を守る ・子どもたちに板倉を愛する心を育てる ・冬期間の安心安全な暮らしの推進 ・「板倉に住みたい」「板倉に住み続けたい」と思えるような、地域づくり |
| <p>【名立区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域固有の資源(山・川・海 ほか)を活用した地域の振興 ・歴史・文化の継承、平和を願う活動の継続・発展 ・次代の名立区を担う人材の育成 ・若い世代も一緒になったまちづくりの取組 ・いつまでも安心して暮らすことのできる福祉の充実 ・地域全体での支え合いの推進 | <p>【三和区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然(谷内池やオニバス等)や田園の環境保全と情報発信 ・三和区の宝(林富永邸、大間城址、北代ぶどう園等)を巡る通年観光の企画及びイベント等の実施 ・安全・安心でおいしい米産地として付加価値の高い地域ブランドの形成と、味噌や地酒、栗などの産品を活用した特産品の開発 ・新たな「地域づくりリーダー」や「地域活動コーディネーター」の育成と社会教育の推進 ・地域活性化に寄与する空き家の活用と移住者への支援 |
| <p>【頸城区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大池・小池を活かした観光 ・くびきのお宝(レールパーク、館)の活用 ・季節の花が咲く通学路、ポケットパークの整備 ・外国人の交流とファーマーズマーケット(買い物難民対策等)の企画 ・情報発信、子どもが楽しむ場の創出 | |